

枚方市教育委員会
協議会会議録

令和6年（2024年）6月27日

枚方市教育委員会

令和6年第6回 枚方市教育委員会協議会 会議録					
開会	令和6年6月27日午前10時40分		閉会	令和6年6月27日午前10時50分	
休憩	なし				
案 件					
1	叙勲について				
2	令和5年度英語教育実施状況調査について				
構成員	教 育 長 者 教 職 務 代 理 者	谷元 紀之	構成員	教 育 委 員	中西 悠子
	教 育 委 員	近藤 孝		教 育 委 員	大中 智恵
説明員	副 教 育 長	岩谷 誠	説明員	教 育 政 策 課 長	笠井 二郎
	総 合 教 育 部 長	今市 将和		中 央 図 書 館 長	亀野 真紀
	学 校 教 育 部 長	新保 喜和		放 課 後 子 ど も 課 長	交久瀬 有里
	総 合 教 育 部 次 長	大西 佳則		教 職 員 課 長	高山 和子
	学 校 教 育 部 次 長	河田 典子		教 育 指 導 課 長	吉川 茂樹
	学 校 教 育 部 次 長	井手内 太吾		学 校 支 援 課 主 幹 (教育支援専門官)	木 村 聡
	学 校 教 育 部 副 参 事 (学校総合支援担当)	中野 雅央	記 録	教 育 政 策 課 長 代 理	高松 健大
			傍聴の人数	2人	

○谷元職務代理者 引き続き教育委員会協議会を行います。

教育委員会協議会を開会いたします。

事務局からの報告案件ですが、案件1について説明をお願いします。高山教職員課長。

○高山教職員課長 案件1「叙勲について」、ご説明いたします。

協議会資料5ページをご覧ください。

「1. 概要」ですが、枚方市立中学校の元校長について、その功労に対し叙勲が行われました

ので、報告するものでございます。

「2. 内容」ですが、高齢者叙勲といたしまして、瑞宝双光章を元枚方市立中宮中学校長、中村憲先生が受章されました。

「3. その他」といたしまして、令和6年6月14日にご自宅にて伝達済みです。

以上、甚だ簡単ではございますが、案件1「叙勲について」の説明とさせていただきます。

○谷元職務代理者 この件について、ご意見、ご質問等ございませんか。

ご質問等がないようですので、本件については説明の聴取程度にとどめます。

続きまして、案件2について説明をお願いします。吉川教育指導課長。

○吉川教育指導課長 案件2「令和5年度英語教育実施状況調査」について、ご説明いたします。

協議会資料6ページをご覧ください。

まず「1. 政策等の背景・目的及び効果について」、説明します。

本調査は、文部科学省が実施する調査として、英語教育改善のための具体的な施策の現状について調査し、今後の市の施策の検討に資するとともに、各小中学校における英語教育の充実や改善に役立てるために実施しております。このたび令和5年度の調査結果について、報告させていただくものです。

次に「2. 内容」について説明します。

令和5年12月に実施しました「令和5年度英語教育実施状況調査」の結果概要について、報告させていただきます。8ページからは、枚方市の結果を掲載しております。この結果から、枚方市の成果として4点、今後の改善点として1点、挙げられます。

まずは「成果」についてご説明します。

8ページをご覧ください。中学3年生の、CEFR A1レベル相当以上（英検3級レベル）の生徒の割合は、全国平均値が50.0%に対して、枚方市は62.1%でした。

9ページをご覧ください。授業の半分以上の時間において、言語活動を行っている学校の割合は、全国平均値は小学校が95%、中学校が75%に対して、枚方市は小中ともに100%でした。

12ページをご覧ください。中学校における教師の英語の使用量については、発話の半分以上を英語で行っている教師の割合は、全国平均値、68.4%に対して、枚方市は100%でした。

15ページ、16ページをご覧ください。外国語授業における1人1台端末の活用状況について掲載しています。詳細については各項目をご覧ください。

次に、「今後の改善点」についてご説明します。

ページを戻っていただき、13ページをご覧ください。

小学校におけるJTE・NETの活用に関して、(6)外国語の授業外での児童生徒との交流の割合が低くなっています。こちらですが、各中学校においては1名のNETを配置しているのに対し、JTEは複数校の兼務など、常時学校に在住している状態ではないため、外国語の授業外での交流の機会が限られております。ですが、児童・生徒が授業外でも英語を活用する機会が増えることは、英語の運用能力を伸ばす観点から有益だと捉えていますので、JTE・NETの研修の際に、授業外でも積極的に児童・生徒とコミュニケーションを取ることを引き続き指導していきます。

以上、甚だ簡単ではありますが、本件の説明とさせていただきます。

○谷元職務代理者 この件について、ご意見、ご質問等ございませんか。

中西委員。

○中西委員 調査結果より、おおむね日頃の授業の成果がこの状況調査から見受けられますが、昨年度実施されました全国学力学習状況調査や、チャレンジテストの成果との関連を事務局としてどう捉えているのかお聞かせください。

○谷元職務代理者 吉川教育指導課長。

○吉川教育指導課長 中学校3年生を対象に実施された令和5年度全国学力学習状況調査におきましては、英語の全国の平均正答率が45.6%に対して、本市は48%と全国平均を上回っております。

同様に大阪府チャレンジテストにおきましても、3年生は大阪府平均54.2%に対して、56.1%と大阪府の平均を上回っております。

これらの結果からも、日頃先生方が取り組まれている授業の成果が、調査結果から見取ることができると考えております。

○谷元職務代理者 中西委員。

○中西委員 ICT機器の活用状況のアンケートでは、全ての項目で全国を大幅に上回る結果となっています。効果的に活用できていると思いますので、これからも個別最適な学びになるよう、よろしくをお願いします。

以上です。

○谷元職務代理者 他に質疑、ご意見等ございませんか。

大中委員。

○大中委員 現在、各学校において、JTE・NETが様々な活動で活用されているとのことですが、児童・生徒にどのような成果があると考えておられますか。

○谷元職務代理者 吉川教育指導課長。

○吉川課長 状況調査にもありますとおり、JTEやNETを活用した取り組みは、各学校で実践しております。令和5年度末に調査しました枚方市の「英語アンケート」の結果におきましても、90%以上の児童生徒が「JTE/NETとの授業楽しい・英語力がつく」と回答しており、授業外の休み時間や清掃時間、特別活動など、児童・生徒と交流する場面があることで、より児童・生徒にとって英語が身近なものになっています。

JTEやNETには、授業外でも積極的に児童・生徒と英語で交流をするなど指導しており、学校訪問等の際には、NETやJTEが休み時間に児童と英語で挨拶ややり取りをしている姿をたくさん拝見しております。

引き続き、こういった取り組みを進めていけるよう支援してまいります。

○谷元職務代理者 大中委員。

○大中委員 ありがとうございました。

中学校に比べて、小学校の授業外での交流の割合がやや低い点について、複数校を受け持つとのこと説明でしたが、小学校は中学校よりも担任外の教員と関わる時間が短くなる傾向があること

も関係しているのではないかと、私個人は考えております。

学校訪問にて交流する姿を多く見かけるとのことで、改善しつつあるのではないかと感じられました。これまでの取り組みを継続していただくことに加えて、より一層関わる時間を意識的に増やす努力をしていただきたいと思います。

以上です。

○谷元職務代理者 他にご意見、ご質問等ございませんか。

本件に対するご意見、ご質問は、この程度にとどめます。

それでは、本日の協議会の案件は、以上となりますので、協議会を終了します。